

| 市町村等 | 令和5年度の活動実績 | | | 構成員へメッセージ等 |
|------|---|---|---|------------|
| | 活動の内容及び実施時期 | 活動への参加者 | 成果・実施内容 | |
| 岡谷市 | <p>【水質保全】 【生活排水対策の推進】 ①水環境に配慮した生活行動の推進 ・「下水道の日」に合わせ「広報おかや9月号」へ掲載する。 ・下水道の仕組み、役割等について「岡谷市職員出前講座」を実施し、下水道への理解を深めてもらう。 ②下水道供用区域内における下水道への接続促進 ・未接続家屋への接続依頼、各戸訪問及びチラシ配布を行う。 ・排水設備融資斡旋 【廃棄物処理による処理】 ③〔不法投棄等による水質汚濁の防止〕（随時） ・不法投棄の多発箇所に啓発看板を設置 ・市報に不法投棄防止の啓発記事を掲載 【湖沼の対策】 ④〔手作業によるヒシ除去作業、除去したヒシの堆肥化〕（令和5年7月8日） ・諏訪湖漁業協同組合、環境市民会議おかやとの共催により開催。 諏訪湖の水質汚濁防止と諏訪湖に対する浄化の意識の高揚を目的に、市民・事業者・市が相互に連携を図り、ヒシの除去を行う。 ⑤〔諏訪湖岸に打ち上げられたごみの除去〕 ・諏訪湖及び河川一斉清掃（令和5年5月28日） ・諏訪湖周一斉清掃（令和5年10月15日） 【工場・事業場排水対策】 ⑥ 排水規制 ・グリーストラップ使用状況立入検査 ⑦ 汚濁負荷量規制 ・特定事業場立入検査 【市街地対策】 ⑧ 〔不法投棄やごみのポイ捨て防止のための啓発〕（随時） ・③と同様 【流出水対策】 ⑨ 〔市街地対策〕 ・道路面の清掃 ・道路側溝・水路等の清掃 ⑩ 〔農地対策〕 ・環境保全型農業の継続＜通年＞ ・有機 JAS の継続＜通年＞ 【公共用水域の水質監視】 ⑪ 〔水質検査〕 ・地下水調査（10月下旬～11月上旬） ・諏訪湖及び天竜川流入河川水質調査（2月中旬） ⑫ 〔油類流出等発生時の調査及び被害拡大防止のための指導〕（随時） ・流出事故発生時に流出元を調査し、被害拡大と今後の事故防止のための指導を行う。 ・市報やパネル等で流出事故防止の記事を掲載し、市民の意識の高揚を図る。</p> | <p>①水道課職員 ②水道課職員 ③環境課職員 ④市民 ⑤市民 ⑥水道課職員 ⑦水道課職員 ⑧環境課職員 ⑨職員 ⑩市民 栃久保耕作組合 2名（うち1名は H29 年度から有機 JAS 継続） ⑪環境課職員、委託業者 ⑫環境課職員</p> | <p>①接続促進のための家庭訪問、諏訪湖浄化に関する下水道の正しい使用方法などを PR することより、諏訪湖の環境改善に資する取組を行う。 ② ①と同様 ③ 不法投棄の防止のため、看板の設置、市報に啓発記事掲載による、市民の意識の向上を図った。 ④ここ数年岡谷地籍ではヒシの量が増加傾向にあるため、今年度もヒシの除去を継続し、諏訪湖の水質汚濁の防止、市民の諏訪湖浄化に対する意識の高揚を目指す。 ⑤一斉清掃は毎回多くの市民に参加していただき、活動として定着し、ごみは減少傾向にある。今年度も実施し、市民の諏訪湖浄化に対する意識の向上を目指す。 ⑥ ①と同様 ⑦ ①と同様 ⑧ ③と同様。 ⑨道路路面の清掃：0m 道路側溝、水路等の清掃：市発注が 200m、各行政区が 6,500m ⑩環境保全型農業の取組が継続したが、対象面積が減少した。（R4年度 227a、R5年度 200a） 有機 JAS の継続ができ、市民に環境にやさしい農業の意識付けができた。 ⑪地下水調査：令和4年度に岡谷市が行った調査では、新たに基準を超過した箇所はなかったが、今年度も継続して、実施する。 河川調査：4河川を調査。 ⑫流出事故が発生し原因者が判明した場合には、今後の事故防止のために指導を行う。また、啓発活動を行うことで、事故防止を図る。</p> | |

| 市町村等 | 令和5年度の活動実績 | | | 構成員へメッセージ等 |
|------|--|--|--|------------|
| | 活動の内容及び実施時期 | 活動への参加者 | 成果・実施内容 | |
| 岡谷市 | <p>【生態系保全】</p> <p>【多様な生育・生息基盤の創出】</p> <p>①〔間伐を中心とした森林整備〕 間伐、作業道整備 時期：4月～3月</p> <p>【水生動植物の管理】</p> <p>②〔アレチウリ駆除（湖周、流入河川）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒシ除去と同時にアレチウリを駆除 ・NPO法人天竜川ゆめ会議主催のアレチウリ駆除に協力 ・アレチウリ駆除活動を行う団体へ補助。 | <p>①岡谷市、山栄建設、飯森林業、中央緑化</p> <p>②市民</p> | <p>①間伐の実施により、下層植生が生え、表土の流出が抑えられる。このことから、森林の土壌が健全に保たれ、雨水の浸透量や保水量も多くなるため、水源かん養機能が維持、増進される。 岡谷市（間伐：7.94ha、作業道：1,121m）</p> <p>②アレチウリの駆除には継続した活動が必要なので、今年度も協力いただける団体に、物品支給による補助を行う。</p> | |
| | <p>【湖辺面活用・まちづくり】</p> <p>◇諏訪湖周サイクリングロードの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡谷市管理区間であるJ区間の整備（R5年4月～R6年3月まで） | <ul style="list-style-type: none"> ・施工業者1社ほか | <ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖周自転車活用推進計画に基づき、塚間川先から釜口水門までの区間（約600m）を整備した。 | |
| | <p>【調査研究・学びの推進】</p> <p>学びの推進</p> <p>◇諏訪湖に関する学習活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境セミナー ・岡谷子どもエコクラブ ・岡谷市職員出前講座 ・環境教育コーディネート事業 | <p>市民</p> <p>岡谷子どもエコクラブ参加者</p> <p>市民</p> <p>神明小学校4年生</p> <p>企業・団体・個人</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は地球温暖化に関するテーマで講演会を実施 7/15 十四瀬川河口にて諏訪湖のヒシ除去体験、水生生物の観察を実施 参加者 28人 8/26 諏訪湖ハイツ周辺にて漂着ごみの調査を実施 参加者 24名 11/18 第9回川ごみサミットにて漂着ごみを使った展示パネルを贈呈し、発表を行った。参加者 15名 希望に応じ市職員が講師となって講座を行う。 ・実施回数 2回 ・市職員が講師となり、「諏訪湖を学ぼう」講座を開催 8/29 実施 参加者：25名 ・事業所・団体・個人が有する環境教育に活用できる事業等を把握し、市がコーディネートすることによって、環境教育の促進を図る。 ・登録団体 13団体、授業実施 2回 | |

| 市町村等 | 令和5年度の活動実績 | | | 構成員へメッセージ等 |
|------|---|--|--|------------|
| | 活動の内容及び実施時期 | 活動への参加者 | 成果・実施内容 | |
| 諏訪市 | 手作業によるヒシ除去作業（7/1） （「トヨタソーシャルフェス」として実施） | 市職員、信濃毎日新聞社、諏訪市セーリング協会、一般ボランティア ほか | ※悪天候のため作業は中止。諏訪湖の水草についての学習会のみ実施。参加者 91 人。 | |
| | 除去したヒシの堆肥化 | 諏訪湖浄化推進「和限」 | ※作業中止により未実施。 | |
| | 一斉清掃（春 5/28、秋 10/15） | 市内中学生、市民、各種ボランティア、諏訪市衛生自治連合会、市職員 ほか | 諏訪湖畔、市内各地区で実施。 春 参加者 435 人、回収量 1,910kg 秋 ※悪天候のため中止 | |
| | 諏訪湖浮遊ごみ除去（9/16） | 市職員、諏訪市セーリング協会、諏訪湖カヤック | ヨットハーバー周辺 ほか ボート、カヤックを使い、アクティビティ要素を付加した作業を実施した。 参加者 60 人、回収量 83kg | |
| | 諏訪湖のごみ調査（8/4） | 市職員、上諏訪中学校 3 学年、ながの海ごみゼロプロジェクト実行委員会 ほか | 8/4「諏訪湖のごみを調べてみよう」 上諏訪中学校 3 学年の「総合の学習」において実施。 | |
| | 不法投棄パトロール及び回収（通年） | 業者、市職員 | 市内流入河川、諏訪湖畔 ほか 年 75 回 | |
| | 不法投棄防止啓発（通年） | 市民 | 啓発用のぼり旗及び看板の配布、悪質案件のプレスリリース等を実施。 | |
| | 油類流出等発生時の調査及び被害拡大防止のための指導（通年） | 市・県職員、消防、警察 | 油類流出対応 R5.1 月末現在 10 件 | |
| | 上川アレチウリ駆除（6/17） | 市・県職員、諏訪市衛生自治連合会、一般ボランティア | 上川車橋付近土手 参加者 17 人、駆除量 31kg | |
| | 湖畔オオハンゴンソウ駆除（8/8） | 市・県職員 | 湖畔終末処理場前周辺 参加者 9 人、駆除量 220kg | |
| | 環境紙芝居の実施（5 月～） | 市内全 13 保育園の園児、保育士、市職員 | 諏訪湖浄化等の環境をテーマとした紙芝居を実施 13 園実施、参加園児 534 人 | |
| | 小中学校図書館での環境図書コーナー設置（6 月） | 小中学校児童・生徒、司書 | 環境月間の取組として実施 小学校 6 校、中学校 4 校 | |
| | 諏訪湖かわまちづくり上諏訪地区協議会 | 市民、観光業・漁業・飲食業等関係者 | ・「諏訪湖かわまちづくり」計画に基づき、諏訪湖かわまちづくり上諏訪地区協議会を設置・開催 ・民間事業者が諏訪湖河川区域内で営業活動を行えるエリア指定を目指し、諏訪建設事務所へ「都市・地域再生等利用区域指定要望書」を提出 | |
| | 諏訪湖サイクリングロードの整備工事 | 施工業者 1 社ほか | 令和 5 年度末の完成に向け、引き続き諏訪湖サイクリングロードの整備工事を実施していきます。 | |

| 市町村等 | 令和5年度の活動実績 | | | 構成員へメッセージ等 |
|------|--|--|---|---|
| | 活動の内容及び実施時期 | 活動への参加者 | 成果・実施内容 | |
| 茅野市 | 河川水質調査 ・茅野市内河川 11 地点 10 項目 年 1 回 ゴルフ場農薬の水質調査 ・茅野市内 5 ゴルフ場、年 2 回実施 | 検査は業者に委託 | 検査結果の詳細は茅野市ホームページに掲載 | |
| | 外来植物除去 ・オオハンゴンソウ、アレチウリ等の除去作業実施（通年） ・駆除方法などを市ホームページ及び広報ちので周知 | 市民団体、ボランティア、市職員 | 縄文考古館、市民の森、運動公園付近で年 4 回実施。 | |
| 下諏訪町 | 以下<*>は下諏訪町湖浄連、<※>は長野県ボート協会の活動を支援：団体事務局 1 湖岸清掃：4月～3月（11回）<*> 毎月、下諏訪町内の指定した区域で、諏訪湖岸のごみ拾いを行う。町による町内一斉清掃活動を5月に実施。 【10/15の一斉清掃は悪天候のため中止。】 2 水辺のごみ調査：4月～11月（5回）<*> 湖岸清掃に合わせて、拾ったごみの種類と量を記録する。 3 アレチウリの除去作業：4月～9月（4回）<*> 湖岸清掃に合わせて、侵略的外来種であるアレチウリの除去を行う。 4 諏訪湖浄化講演会の開催<*> 諏訪湖浄化講演会の代替事業として、令和5年度『第9回川ごみサミット in 諏訪湖』を実施。全国川ごみネットワークとともに令和5年11月18日（土）に開催。 5 小学生に対する環境学習<*>：7月19日・8月11日（クリーン祭での清掃）・9月12日 町内の小学生に対し、ごみ処理の流れや課題などを学ぶ環境学習を実施。 6 諏訪湖クリーン祭の開催：8月11日（金・祝）<*> 各団体によるブース展示、湖上観察会や親と子のボート教室などを通して、参加者が諏訪湖に親しむイベントを開催。 7 下水道への理解と排水対策 ・下水道ふれあい見学会協力 ・デザインマンホール蓋設置 ・特定事業場及びその他事業場への立入水質検査 51 事業場 8 諏訪湖岸の芝等の管理 4月～12月（年4回実施） 9 教室名：みずべフィットネス 湖畔の健康スポーツゾーンに整備された屋外健康器具 15 基を使った健康講座 ・第1期（5月～6月）全6回 ・第2期（10月～11月）全6回 10 フォロー講座：月いちウォーキング インターバル速歩講座、みずべフィットネスの卒業生を対象にした講座（4月～3月 全12回） | 1・2・3・4 下諏訪町民、湖浄連会員等 5 下諏訪町内小学生 6 下諏訪町民、湖浄連会員、各種団体等 7 町 8 町、シルバー人材センター、委託業者 9・10 下諏訪町民 | 1 諏訪湖に漂着したごみを拾うことで、環境美化及び景観の保持につながった。 【活動実績】可燃物532kg 不燃物181kg 計713kg 2 諏訪湖のごみの傾向を把握し、今後の浄化活動につなげていくための資料となった。 3 湖岸清掃に合わせてアレチウリの除去を行うことで在来種を守り、生態系の保全につながった。 4 諏訪湖に関する講演会を通して、多くの人にごみ問題について考えてもらう機会となった。 5 ごみが環境へ与える影響を学び、実際のごみ拾い体験やグループでのまとめを通して、ごみ問題についての理解を深めることができた。 6 ブース展示や様々な催しを通して、参加者に楽しみながら諏訪湖とふれあいを持ち、諏訪湖に親しんでもらうことができた。 7 地域の特色を活かしたデザインマンホール蓋を通じて下水道への理解と関心を深めてもらった。 8 諏訪湖岸の芝刈りは協定回数以上実施し、良好な環境を維持できている。 9 今年度は地区ごとに参加者を募集する教室日程とし、日々の健康づくりにつながる運動方法を習得。教室日以外でも自主的な諏訪湖畔でのウォーキングや筋力トレーニング等の運動習慣を定着させ、個人や集団でも安心して取り組むことができる屋外の健康づくりの拠点として更なる利用を促進する。 10 昨年度は 189 人の参加があり、過去の教室参加者から直近の参加者まで、健康づくりに積極的に励む方の運動支援の場であり、仲間づくりの場としても位置付ける。 11 団体・地域住民及び行政職員での協働作業により、 | 1～6 町では、下諏訪町諏訪湖浄化推進協議会（湖浄連）の活動を支援しており、今後も湖浄連をはじめとする各種団体と連携して、諏訪湖浄化に取り組めます。 9・10 ジョギングロードとサイクリングロードの整備が完了し、ますます安全に利用できる環境が整ったことで、利用者にとって健康づくりに取り組むための選択肢も増えました。引き続き魅力ある諏訪湖周の利活用を進 |

| 市町村等 | 令和5年度の活動実績 | | | 構成員へメッセージ等 |
|------|--|---|--|--|
| | 活動の内容及び実施時期 | 活動への参加者 | 成果・実施内容 | |
| 下諏訪町 | <p>11 砥川ニセアカシア除伐・土手草刈り作業及びごみ拾い（7月16日）</p> <p>12 下諏訪ローイングパークの活用 諏訪湖活用拠点（水上防災拠点・艇庫）を活用し、災害時への備えと、13のボートやカヌーをはじめとする水上スポーツイベント事業等を進める</p> <p>13 各種ボート競技等の開催 (1)5/13・14(土・日) 第46回信毎諏訪湖レガッタ・第24回全国ナックルフォア大会（荒天のため中止） (2)5/17(水) 新入社員実践道場（ボート乗艇体験+エルゴ体験） (3)9/10(日) 第42回下諏訪レガッタ (4)9/30(土)10/1(日) 全国市町村交流レガッタ下諏訪大会</p> <p>14 手作業によるヒシ除去（ビジョン推進会議が実施した作業への参加） 7月<※></p> <p>15 手作業によるヒシ除去（下諏訪ローイングパーク） 8月頃<※></p> <p>16 その他の水草の除去（下諏訪ローイングパーク） 8月頃<※></p> <p>17 赤砂崎公園において、地域の事業者が運営するキッチンカーの出店</p> <p>18 不法投棄パトロール及び回収（通年）</p> <p>19 河川水質検査（年4回）及び地下水水質検査（年1回）</p> <p>20 油類流出等発生時の調査及び被害拡大防止のための指導（随時）</p> <p>21 町民大学 下諏訪町を取り巻く様々な課題や身近にある事柄に対し、「自らのこととして学び、考え、そして判断し行動する」ための学習意識の喚起と醸成を図ることを目的として開講する連続講座。</p> | <p>11 砥川を愛する会会員、地元住民、行政職員（町、県）</p> <p>12 町</p> <p>13 (1)県内外 132クルー (2)町内企業（を主とした諏訪地域企業） (3)県内外 94クルー (4)県内外 111クルー</p> <p>14 協会事務局 1名</p> <p>15 協会役員、地元高校ボート部員 約100人</p> <p>16 協会役員、水草刈り取り業者</p> <p>17 出店スタッフ</p> <p>18 町</p> <p>19 町、委託業者</p> <p>20 町</p> <p>21 参加者 植物：45人 御神渡：47人</p> | <p>諏訪湖へ流入する砥川沿いのニセアカシア除伐、土手草刈り作業及びごみ拾いを行い、環境美化及び景観の保持につながった。</p> <p>13 ボート大会ではスポーツ振興や青少年育成への寄与を目指す。新入社員実践道場では、複数の漕手が舵手の指示のもと協力して艇を進めるというボートの特性を活かし、湖畔の健康スポーツゾーンを活用したスポーツの体験を通じて新入社員のコミュニケーション能力とチームワークの向上を図るとともに、健康づくりへの意識を高めることができた。全国市町村交流レガッタ下諏訪大会は、競技場である下諏訪ローイングパークのほか、赤砂崎公園及び健康フィールドを特設会場として、物産や飲食スペース、観光紹介ブースなどの「おもてなしブース」を設置し、レガッタの参加者ほか、広く町民の皆様にも呼びかけ、町制施行130周年記念事業にふさわしい、賑わいの創出につなげていくことができた。</p> <p>14・15・16 水草の除去や必要があれば浮遊物の回収・廃棄を行うことで、腐敗による環境悪化を防ぐとともに、ボートの航行への障害を排除し、湖辺面の活用に繋げる。</p> <p>17 キッチンカーの出店により、公園サービス向上に繋がった。</p> <p>18 諏訪湖畔及び町内流入河川を含む町内全域のパトロールとごみの回収を行い、環境美化及び景観の保持につながった。</p> <p>19 町内河川9箇所（6項目）及び地下水5箇所（3項目）の水質検査を実施した。</p> <p>20 油類の流出事故が発生し、原因者へ今後の事故防止のために指導を行った。</p> <p>21 ○「植物のさまざまなくらし～身のまわりの植物から高山植物まで～」 町の木と花は何？身の周りに生えている草花の名前は？から帰化植物の取扱まで、参加者と掛け合いをしながら植物の暮らしについて学んだ。 日 時：令和5年7月23日（日） 13：30-15：30 講 師：杉山清氏（下諏訪町教育委員会） 場 所：下諏訪総合文化センター</p> | <p>めていきたいと思えます。</p> <p>11 諏訪湖へ流入する砥川をきれいに保つことで、諏訪湖美化へつながると考えています。今後も砥川を愛する会をはじめとする各種団体や地元住民と連携して、砥川の美化活動に取り組んでいきます。</p> <p>14・15・16 漕艇場内の水草は年によって量が違うため、今後も長野県や、その他諏訪湖に関係する皆様のご理解とご協力をお願いします。</p> <p>17 キッチンカーの出店に伴う公園サービスの向上により、滞在時間の延長を図り、賑わい創出を目指します。</p> |

| 市町村等 | 令和5年度の活動実績 | | | 構成員へメッセージ等 |
|--------|---|--|--|--------------------------------|
| | 活動の内容及び実施時期 | 活動への参加者 | 成果・実施内容 | |
| | 22 グランドデザイン策定事業 | 22 町、グランドデザイン策定委員会 | <p>○「御神渡りの記録ってすごい！」 約560年前から記録され続けている“御神渡り”現象の記録は、「世界最古の気象記録」ともいわれるが、その中には当時の世相や経済動向も記載されている。記録から読み取れる当時の様子について学んだ。 日 時：令和5年11月19日（日） 13：30-15：00 講 師：小口徹氏（諏訪湖博物館専門研究委員） 場 所：下諏訪総合文化センター</p> <p>22 諏訪湖周辺における賑わい創出のための将来像を町、事業者、地域住民で策定することで、住民参加のまちづくりを推進する。</p> | 22 賑わいある諏訪湖周を目指し、将来像を検討していきます。 |
| 富士見町 | <ul style="list-style-type: none"> ・アレチウリ除去作業（宮川）の実施（7月） ・河川水質調査 ・町内河川 7地点（4河川） 年2回 （5項目：5地点、8項目：1地点、1項目：1地点） | <ul style="list-style-type: none"> ・約20名 ・地元区民 | 毎年作業を継続して実施。町内ではアレチウリは増加傾向であるが、宮川については減少傾向となっている。 | |
| 原村 | <ul style="list-style-type: none"> ・アレチウリ等特定外来植物の除去作業（各区等の計画による） ・河川水質検査 主要河川 5河川／5か所（年2回） 8検査項目を実施 河川等 8地点／8か所（年2回） 8検査項目を実施 | ・オハゴンソウ 各区民等 | 毎年作業を継続して実施。各区等の取り組みに対し、村が収集運搬車両を手配している。 | |
| 諏訪広域連合 | ・諏訪湖浄化対策連絡協議会（諏訪圏6市町村で構成）の事務局運営（通年） | 諏訪圏6市町村職員、6市町村職員ほか | 1 県関係機関との意見交換会の開催 | |